富士山憲章 NewsLetter

2024
7
No.144

富士登山2024
－夏山特集－

美しい富士山を後世に引き継ぐために・・・
－富士山レンジャー写真展2024－
－富士山美化啓発キャンペーン－

目次

富士山憲章ニュース
富士山夏山特集～2024～
富士山レンジャー活動報告
新任レンジャー紹介
富士山世界遺産センターだより25号
Information（おしらせ）

（写真提供　山梨県富士山レンジャー）

令和6年度　富士山憲章山梨県推進会議幹事会の開催

令和6年5月23日（木）山梨県立富士山世界遺産センター北館研修室において、令和6年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。

幹事会の様子

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町）、2つの恩賜林組合（富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合）で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。

年に1度行われる幹事会では、前年度の活動内容が報告されるとともに、さらに多くの方々に「富士山憲章」を知ってもらい、富士山の保全活動に協力してもらうための今年度事業を決定しました。

令和5年度　活動報告

令和5年度は、富士山世界文化遺産登録10周年記念の年。ボランティアの方々や関係各所の方々に活発にご参加いただいたこともあり、予定していた全ての活動を実施できました。

富士山の自然を感じながら歴史、文化を学ぶ散策と清掃活動をおこなう「富士山エコトレッキング」は、募集定員を大幅に上回るご応募をいただき、環境保全に向けての気持ちを共に感じる活動となりました。富士スバルラインマイカー規制中には、「富士山憲章」の周知、普及と、環境意識の向上を図る啓発活動「富士山憲章キャンペーン」を8月の毎週金曜日におこないました。

地域主催イベント時には、「富士山憲章」が入った啓発物品の提供、近隣施設や小学校等での啓発物品の配布も継続できました。

その他、10月は「ぐるり富士山風景街道一周清掃2023」の重点区間清掃活動に参加する形で「国道清掃キャンペーン」を実施。11月は、富士山麓環境美化推進ネットワーク構成団体約50名の方々とともに、不法投棄防止の啓発と清掃活動を行う「富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーン」を開催しました。

人々が活発に動き始めたこともあり、オーバーツーリズムによる問題も表面化してきましたが、富士山の環境保全への取り組みを知ってもらう活動が実施できたことは嬉しく思います。

また、年3回刊行しているニューズレターでは「夏山登山」「冬山啓発」など富士山レンジャーが安全で快適な富士登山を紹介するほか、刊行時期に合わせた内容を掲載しました。

毎月富士山関連のイベント情報を発信してきたメールマガジンは令和6年3月末で終了となりました。ご愛読ありがとうございました。

「第21回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」には、33都道府県と海外から1227点のご応募をいただきました。富士山への愛にあふれる作品の中から、入賞・入選200点は県内外での巡回作品展で覧いただけます。

多くの方々に当センターの事業にご協力いただきました。ありがとうございました。

令和6年度　事業内容

美しい富士山を末長く後世に引継いでいくため、富士山憲章の普及・定着を図る活動を行うとともに、富士山の環境保全に向けて、多くの方に積極的に行動いただけるような取り組みを今年度も実施します。

1．富士山エコトレッキング

富士山麓に生息する動植物の解説を聞き、自然に満ちた道をたどりながら富士山麓の魅力を味わえるコースを予定しています。散策の後は、自然の恩恵に感謝しつつ、清掃を行います。

2．富士山美化啓発キャンペーン

富士スバルラインマイカー規制中に富士登山をされる方が利用するシャトルバス発着所の「富士山パーキング」において、富士山にゴミ箱がないこと、自分のゴミは持ち帰っ

てもらうことを伝え、美しい富士山を後世へ引き継ぐため制定された「富士山憲章」の理念を周知する啓発を、ボランティアの方々と呼びかけます。同時に、周辺の清掃活動も行います。

3．富士さんへ謹賀新年

～富士山あて年賀状～

海外の方からの作品応募も増えてきましたが、毎年地域の学校から沢山の作品が届いています。

構成市町村の方々だけではなく県外からも、年齢も様々な方々からも届きます。「富士山」という言葉から広がる世界は多種多様に満ちています。この活動についても継続し、22回目の今年度も富士山への愛に溢れた作品を全国から募集します。例年どおり入賞・入選200点については、県内外各所にて巡回作品展の開催を予定しています。

その他、富士山及び北麓地域の美化清掃をしてくださる方々や団体に清掃用ゴミ袋や軍手を無料で配布します。企業や学校全体、部活動の中などでのボランティア清掃活動についても、お気軽にご相談ください。

また、小学校中学年児童から学べる、富士山が世界遺産に登録された背景、植物の分布、美しい景観を守るための活動などを写真や図を交えて分かりやすく紹介している「富士山憲章ワークブック」は、富士山ボランティアセンターのHPにて無料でダウンロードできます。この機会に富士山ボランティアセンターのHPをご覧ください。そして、新しいアクションも考案中。

富士山環境保全募金・寄付金募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、皆様へ募金のご協力をお願いしております。寄せられた募金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※募金箱がある施設

- 富士山ボランティアセンター
- 山梨県富士山科学研究所
- 道の駅　富士吉田
- ふじやまビール
- 三ツ峠グリーンセンター
- 富士湧水の里水族館
- 山中湖観光案内所
- 山中湖温泉　紅富士の湯
- 山中湖　花の都公園
- 富士河口湖観光総合案内所
- 河口湖自然生活館
- 道の駅　なるさわ
- ふじさんミュージアム

※一万円以上の寄付をいただいた方、団体には感謝状を贈呈します。

ご協力いただける方（団体）は、富士山ボランティアセンターまでご連絡をお願いします。令和5年度の募金・寄付金につきましては、富士山ボランティアセンターHP「収支報告」にて掲載しています。

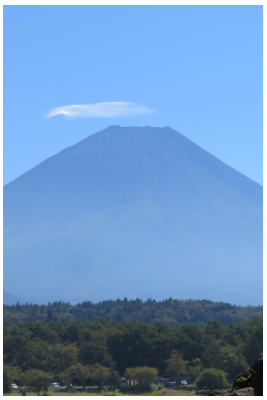
第21回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～入賞・入選作品展のお知らせ

毎回様々な想いが込められた年賀状がたくさん届きます。一作品ごと工夫され、素敵な作品ばかりです。

今後の開催スケジュールは次のとおりです。

6月29日（土）～7月30日（火）
身延町総合文化会館
8月1日（木）～8月30日（金）
山梨中央銀行本店
9月5日（木）～9月17日（火）
御殿場市民交流センター
ふじざくら
9月19日（木）～10月7日（月）
四季の杜おしの公園
小池邦夫絵手紙美術館
10月10日（木）～10月30日（水）
富士河口湖町役場
11月1日（金）～11月24日（日）
韮崎市立大村記念図書館
12月4日（水）～12月19日（木）
静岡県富士山世界遺産センター
12月20日（金）～令和7年1月7日（火）まで
山梨県立富士山世界遺産センター
北館　Ｆｉｎａｌ！

なお、開催日程等に変更の可能性がありますので、富士山ボランティアセンターHPにて最新の情報をご確認ください。



本栖湖から望む
富士山

こんなにも愛されている富士山を美しいまま後世に引き継いでいくために、富士山ボランティアセンターでは今後も関係機関と協力し、世界遺産富士山の環境保全活動と、「富士山憲章」の普及活動に取り組みます。

富士山ボランティアセンターのHPでは、ボランティア活動の募集や富士山レンジャー写真展など含め富士山関連情報を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

（https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/）

富士山夏山特集
～2024～

2024年もあっという間に半分が過ぎ、夏が目前に迫っています。これからは我々【富士山レンジャー】にとって、勝負の季節。そう、富士山開山期がやってきます。

例年、富士登山をされている方の中には、準備や計画不足により、当日辛い思いをされる方も少なくありません。

そこで、毎年恒例のこのコーナー、「富士山夏山特集」で、注意事項や登山で使える豆知識をお伝えします。ご経験のある方も、ない方も、ご参考にしていただけますと幸いです。

みなさんの富士登山が成功するよう、レンジャー一同願ってやみません。

もくじ

1. 「弾丸登山」とそのリスク
・高山病・低体温症・落石と転倒
2. 登山のマナー
3. まとめ

気になる項目のみでも、お気軽にご一読ください。では、スタートです。

1. 「弾丸登山」とそのリスク

まず、昨今話題の「弾丸登山」について説明します。

「弾丸登山」とは、山小屋等での宿泊をせず、夜通し歩いて山頂を目指す、いわば「0泊2日」の登山形態のことを指します。

本来、安全で快適な登山を楽しむためには、途中で1泊するようなゆとりのある計画を立てることを推奨しているのですが、弾丸登山はそれと相反するものです。

もちろん、弾丸登山をした方全員が体調を悪くされるわけではありませんし、体力面でカバーされる方もいらっしゃるのですが、相応のリスクがありますので、今回は3つに絞ってご紹介します。

昨夏の弾丸登山者の様子

【弾丸登山のリスク・3選】

①高山病

高山特有の〝気圧と酸素濃度が低い環境〟に、体が追いつけなくなった際に、出る症状全般を指します。

具体的な症状としては、めまいや吐き気、頭痛、食欲不振、脈拍の上昇等です。

弾丸登山では休憩をせず、一気に山頂を目指しますから、体が環境の変化に適応しづらいため、高山病の発症リスクが格段に上がります。万が一、高山病を発症してしまった場合・・・。

対処法は「下山」しかありません。そうならないためにも、予防が大切。

予防策は、弾丸登山を行わない、高度順応を行ってから登る、ゆっくり登る、水分を十分に摂る、深い呼吸をする（体の中の空気を全て出す、1m先のロウソクを消すイメージで！）等です。

②低体温症

体温が35度以下に低下した状態のことを指します。服が濡れたまま過ごしたり、雨風に長時間打たれ続けたりした場合の発症が多いです。

弾丸登山をされる方々はこのような状況でも休憩（雨宿り）をしたり、着替えたりすることを行わないため、発症例が多く見られます。

具体的な症状としては、手足の震え・虚脱感・錯乱→幻覚→昏睡等です。

こちらの予防としては、第一に体を冷やさないことです。速乾性の肌着を身に着ける、防寒着を持参する等です。特に、（撥水または）防水機能のあるレインウェアは、富士登山での必携アイテムです。ですが、「登山道具を一式そろえるのは敷居が高い・・・」と思われる方もいらっしゃいますよね。そんな方には、登山用具レンタルサービスの活用をお勧めします。

また、行動食をこまめに食べカロリー摂取をするのも有効です。

このような装備では山の天候変化に耐えることができません。

天候や登山道の状況によっては、想定より体力の消耗が激しくなることもありますから、装備品などの準備は万全を期した状態で山に出かけましょう。心の準備も忘れずに！

その他、**万が一低体温症を発症してしまった場合**の対処法です。まずは体を内外から温めてください。濡れた服を脱ぎ、温かい飲み物を口にしましょう。もし近くに山小屋があれば、避難させてもらい、暖かい場所で過ごすのも一つの手です。お世話になる際は、しっかりとした礼儀をもって訪問してくださいね。開山期の山小屋は大忙しです。くれぐれもご迷惑はかけぬよう、何卒よろしくお願いします・・・。

③疲労による転倒や落石被害

無休で登り続けたことにより集中力が低下した弾丸登山者には、様々なハンディキャップが伴いますが、代表的なものが**転倒**と**落石**によるものです。

転倒については、地面が溶岩の斜面になっている分、平地で転ぶよりも被害が大きくなりやすいです。転倒で大怪我をしてしまう方は、実際多くいますので、ご注意ください。（特に下山道）

また、転倒は注意していればある程度未然に防止することができますが、落石はそう簡単にはいきません。

疲弊して集中力が切れかけている中でも、常に斜面の様子は気にし続けてください。自然発生するものもありますし、人為的なものもあります。

後者の「人為的」なものについては、意図せず起こしてしまった事案も含まれます。例えば、たまたま蹴ってしまった石が運悪く落下してしまった場合です。登山中に石を落としたり、投げたりすることはもちろんおやめいただきたいのですが、意図的でない落石の防止にもご協力をお願いします。

また、過去には死者12名、負傷者が29名発生するという大事故もありました。（自然発生によるもの）

休憩中も落石被害にご注意

予防策としては、山に行く際は登山靴を履く、ストックを使用する、ヘルメットを準備する等です。ヘルメットは現地での無料貸出（デポジット制）もありますので、是非ご活用ください。

もし、ご自身が転倒や落石で負傷してしまった場合、軽傷であれば自己対処ができるのですが、重症であれば迷わず救助要請を行ってください。

2. 登山のマナー

あらゆる立場の人々が気持ち良く登山ができるよう、登山にも最低限のマナーがあります。今回は6つご紹介。

①登山道は（原則）登りが優先。

臨機応変な対応と譲り合いの気持ちも大切に！

②無理な追い越しは行わない

歩くのが早い人、遅い人・・・。いろんな人がいるのが、魅力的な山の証です。自分勝手な登山はやめましょう。

③落石を起こさない

万が一落石を起こしてしまった場合は大声で「ラク！」とまわりの方にお知らせください。

④助けを求めている人の救助

登山をしていると怪我をされている方に会うことがあります。その際は知らないふりをせず、お声掛けください。

⑤ストックの先端にはキャップをつける

登山道や動植物を傷付けぬよう、ご配慮願います。

⑥誘導ロープには触れない

登山道沿いにあるロープは区画分けのためのものであり、登山を補助するものではありません。

3. まとめ

ここまでお読みいただきありがとうございました。

今回ご紹介した情報は、登山をする人ならどなたでもご参考にしていただけるかと思います。これを機に、弾丸登山の危険性や登山マナーを知っていただき、富士登山を検討しているまわりの方々にもお知らせいただけますと幸いです。

最後に、今年の吉田ルートで始まる新たな取り組みについてご紹介します。

登山道入口にゲートを設け、弾丸登山を防止するため午後4時から翌朝3時までの間はゲートを閉鎖します。また、登山道の混雑を防ぐため1日の登山者数の上限を4、000人とし、この上限を超えた場合はゲートを閉鎖します。いずれも山小屋の宿泊を予約している方はゲートを通過できます。

安全な富士登山のための対策に必要なお金として、五合目より上に登る方に、これまでの協力金1、000円に加え通行料2、000円をご負担いただきます。

こうした取り組みの詳細は、富士登山オフィシャルサイトに掲載されています。登山計画を立てる際には今から情報収集をはじめておきましょう。

みなさんが今年の夏山も楽しめますように。

昨夏、富士山頂からの御来光

富士登山オフィシャルサイト

http://www.fujisan-climb.jp

2024年2月～2024年5月 富士山レンジャー活動報告

富士山環境美化推進ネットワーク

富士山環境美化推進NW会議

3月7日（木）、富士山環境美化推進ネットワーク会議が富士山世界遺産センター北館研修室で行われました。富士山環境美化推進ネットワークは、富士山北麓でのゴミの不法投棄問題に対応するべく、平成16年から活動しています。メンバーは環境省、山梨県、周辺市町村と、民間の40団体で構成されています。メンバーは日常業務等で発見した不法投棄物の通報、不法投棄防止啓発活動への参加など、ネットワーク設置の目的に即した活動を日ごろから行っています。年1回の会議ではレンジャーは1年間に発見した不法投棄についての報告をしています。令和5年度の発見件数は94件、推定重量は約1．3トンでした。

自然観察園の植生研修

本誌141号の活動報告にて、世界遺産センター敷地内の自然観察園をリニューアルをしたことをお伝えしましたが、実際に皆様に活用していただくだけでなく、センターの職員もご案内ができるよう、4月10日（水）、富士山科学研究所の中野先生にお願いして植生の解説をしていただきました。参加したレンジャー7名とセンターのスタッフは、観察園に生育している樹木や植物について、知識をより深めることができました。

センター自然観察園での植生研修受講

自然観察ビンゴゲーム

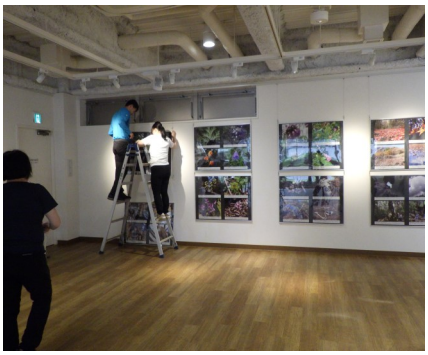
5月7日（火）、山梨県内の笛南中学校の生徒さんが世界遺産センターに見学に来た際、一緒に自然観察園でフィールドチェックを行いました。観察園に生えているもの、落ちているものを班ごとに分かれて見つけて歩き、カードにチェックを入れながら歩きました。剣丸尾溶岩流の上にできた森の説明もしながら、自然について理解を深めるお手伝いをしました。

笛吹南中学校の生徒とフィールドチェック

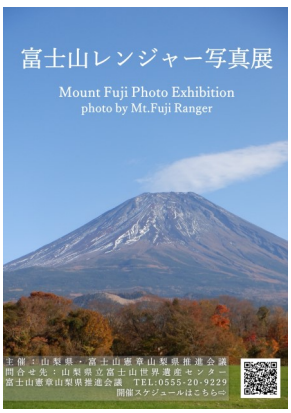
レンジャー写真展

今年度の富士山レンジャー写真展が始まりました。写真展は6月に始まり、県内外の図書館や役場、道の駅、商業施設などにそれぞれ2週間～10日間の巡回展示をするものです。

今年度の第1回の展示は、東京都のモンベル御徒町店で6月1日（土）から16日（日）まで開催。レンジャー4人で5月31日（金）搬入に行きました。大きな脚立に乗り、天井からワイヤーを吊るす係、パネルが水平かつ横のパネルと同じ高さになるよう、パネルを付ける位置を測ってフックを付ける係に分かれ手際よく設置していきました。最後に全体を見て位置を微調整して終了です。最終日には恒例の「富士山登山講習会」も行いました。



写真の設置作業



県内外で開催される写真展、ぜひご覧ください。

安全Plus

快適登山のススメ

～富士山夏山特集番外編～

本格的な夏山シーズンを迎え、今季富士登山を予定されている方々におかれては、きっと登頂成功の期待をこめつつ、装備品などの準備に余念がないことと存じます。

今回は、大前提である「安全無事」に＋αして、「快適登山」の提案をしたいと思います。多くの場合一泊二日の短期決戦となる富士登山。基本装備は一般的なハイキングと同様に考えてよいと思いますが、富士山特有の諸条件に合わせた用意をしていくと、より「快適」な登下山が可能になります。いわばこの「不快さの軽減」が、「集中力に寄与＝結果として安全に対し一役買う」とレンジャーは考えております。少しだけレンジャー考案の「快適術」をご紹介します。参考にしてみてください。

サイドポケットに
「何でも使えるWATER」（仮称）を常備

山中で水が得られない。森林限界から上のエリアが広大で、低気温や風雨・強い直射日光等に長時間晒されるリスクがあります。長く続く岩場や砂礫道等々が、富士山特有の条件として挙げられます。まず、必要な飲料水の他にペットボトル一本分くらいの「上水」を携行すると、うがいやちょっとした洗浄にも使えて便利です（写真①参照）。

某レンジャーのグローブ。着脱を面倒がった
結果「痛い思い」をして以降、常備品となった。

また、寒さや岩稜等からしっかりと手を保護しつつ、カメラ操作をはじめ細かな指先作業も出来る手袋を携行します（写真②）。雨は降らずとも防寒対策に必須の雨具。ザック本体を開けずにサッと着られるよう、トップリッドに入れておくのも一手です（写真③）。

そして日焼け対策にも万全を期したいところ。サングラスやマスク等はもちろん有効ですが、スティック型等の日焼け止めを携行すると塗り直しが容易に出来ます（写真④）。更にハッカ油を一滴しみ込ませたおしぼりがあれば、ゴミも出さずにお顔はサッパリ（写真⑤）。必要充分条件と荷物の軽量化の両立は登山者の常なる夢。取捨選択をしたうえで、そこにちょっと自分なりの工夫を加えることで、快適性がup！疲労感の軽減やパフォーマンスの向上にも繋がります。皆さんも是非「自分流」の快適術を考案して、安全かつ「快適」な富士登山を楽しんでください。

ザックの上蓋に何を収納するかは、各人工夫の
しどころ。自分流の「最適解」を毎回試行錯誤！

新任レンジャー紹介

岡本　安弘レンジャー

みなさん、はじめまして。この度、富士山レンジャーに着任しました　岡本安弘（おかもと　やすひろ）です。

以前より関東の低山を歩き始め、樹々のみずみずしさや鳥のさえずりに魅了され、この豊かで、すばらしい自然を将来に残していきたいと強く思いました。

過去は自動車関連と、直近2年間は環境省アクティブ・レンジャーで　自然環境保護に関わる仕事を経験してきました。

富士山とその周辺には数多くの貴重な自然が有ります。将来の子供たちに残し、観光など地域活力をいっそう増すためには自然保護と自然回復が必要だと思います。そのために地域の方や関係団体などと協力し、数多くの方に「自然と触れ合う場所と機会」の提供に貢献したいと思っています。

よろしくお願いします。

富士山世界遺産センターだより25号

■世界遺産登録記念日の様子

皆さんご存じのとおり、6月22日は富士山が世界文化遺産に登録された記念すべき日となります。6月22日を中心に様々なイベントを行いました。

◆クイズラリー

6月19日から23日の期間で、山梨県富士山科学研究所と山梨県立富士山世界遺産センターを見学してクイズにチャレンジしてもらいました。 クイズ用紙に2施設両方のスタンプを押してもらい、期間中に用紙を持参した方には記念品をプレゼントしました。

昨年度にも増して、今年もとても好評で、たくさんの方に参加していただきました。小さいお子様のいるご家族、小中学生の皆さん、一般の方まで、参加した方々も様々でした。記念品も喜んでいただけたようで嬉しく思います。

今回の企画を逃してしまった方、また次は参加したいという方、同様のイベントを11月20日（県民の日）と2月23日（富士山の日）にも計画中です。イベントが近くなりましたら、お知らせしますので、ご確認ください。

◆缶バッチづくり

6月22日の登録記念日には、当センター南館内で缶バッチづくりを行いました。こちらも毎年行っている企画です。デザインも様々で、いろいろな缶バッチを作ることができます。

思い思いに富士山に色をつけたり、言葉を入れて、自分だけのオリジナル缶バッチを作っていました。

クイズラリーと同様に11月20日（県民の日）と2月23日（富士山の日）にも行います。是非ご参加ください。

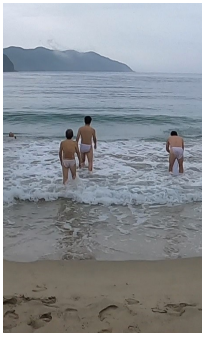
〔情報発信スタッフ〕

■近時の資料調査

昨令和五年度は、富士信仰の広がりを追って、北は長野県北安曇郡小谷村（きたあずみぐんおたりむら）、西は三重県尾鷲市三木里町（おわせしみきさとちょう）まで、調査の足を延ばしました。

◆三重県の富士講行事

富士山頂から南西に二七六キロメートル、熊野灘の入江に臨む三木里では、マチ（町）の背後のオヤマ（御山＝浅間山）の頂に石造の大日如来像を祀っています。同所の富士講は七月一日に、『富士山の山開にあわせて山に登り、山頂の杉の大木に幣束を結んだ大竹を縛りつける』行事を今もなお継承しています。この御山祭（おやまのまつり）に加わる皆さんは、前月二十八日から精進潔斎に入り、多い日は七回浜へ出て潮水に浸かってコオリ（垢離）を掻きます。江戸時代の上方では、旧暦五月の末になると山伏たちが河辺で垢離を掻く「富士垢離（ふじごり）」が盛んであったといいます。こうした伝統が三重県の南部にのこっているとに驚かされます。



調査研究スタッフが、令和五年六月二十九日から七月一日まで、富士講の皆さんと寝食をともにし、記録映像「西国の山開き-三重県尾鷲市三木里の御山祭-」（五〇分）を制作しました。昨年の第一回企画展「富士信仰の広がり-東国・北口・西国-」では、その主要場面を一五分ほどに再編集し、ご覧いただきました。

◆進む長野県の調査

本年度は、長野県（信濃国）に展開した富士信仰について調査を進めています。河口湖北岸の川口（富士河口湖町河口）にあって、信州の各所を訪ね富士信仰を布教したのが川口御師です。彼らが配布した神札や牛王宝印（護符）、庚申掛軸が各地で見つかっています。

こうした品々をご覧いただくとともに、川口御師の活動について、七月二十五日からの企画展「信州（長野県）に展開した富士信仰」（九月二十三日まで）にてご紹介いたします。

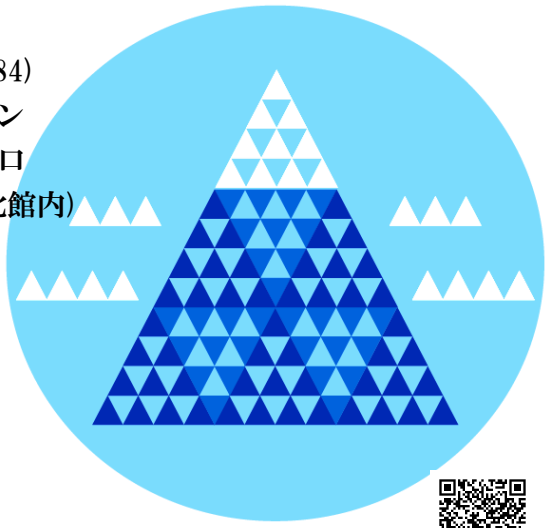
〔調査研究スタッフ〕

～information～

富士山美化啓発キャンペーンボランティア大募集!!

登山シーズンを迎え、登山者や観光客にゴミの持ち帰りを呼びかけるとともに、環境保全のための清掃活動を行うボランティアを募集します。皆様のご参加、お待ちしております。

実施期間：8月2・9・16・23・30日(金)　計5日間
9時集合～11時30分解散予定
活動場所：富士山パーキング(富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)
集合場所：同上　※駐車許可書発行希望の方は、富士山ボランティアセンターにお越しください。南都留郡富士河口湖町船津6663-1(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)
募集人数：各日10名程度
持ち物等：帽子、飲み物、カッパ、動きやすい服装等
募集締切：7月26日(金)　午後5時まで。定員になり次第終了
※野外での活動です。各自感染症対策および熱中症対策もお願いします。マスク着用は個人の判断に委ねます。



詳細はこちらのHPをご覧ください。

https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/fujisan-bikakeihatsu-cp.html

富士山レンジャー写真展 2024

巡回展の日程など詳細はこちらから➜

富士山レンジャーInstagram

インスタはじめました➜

FUJISAN_RANGER

富士山憲章（行動規範）

一　富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。

一　富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。

一　富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。

一　富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。

一　富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日　山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行　富士山ボランティアセンター
（富士山憲章山梨県推進会議）
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
（富士山世界遺産センター北館内）
TEL：0555-20-9229　FAX：0555-72-4114
E-MAIL：fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html

富士山環境保全関連イベントのメールマガジン「富士の国やまなし観光ネット　富士の国やまなしメールマガジン」は令和6年3月31日で終了しました。ご愛読ありがとうございました。4月からの富士山環境保全関連イベントは富士山ボランティアセンターホームページにアクセスください。

https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/